

造園学特論実験・演習 (8単位)

担当者氏名 鈴木貢次郎・麻生恵・金子忠一・小林章・鈴木誠・高橋新平・服部勉・濱野周泰・山崎元也

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

修士論文(制作)に関わる成果の整理・分析・考察・表現手法、プレゼンテーション能力などを討議や発表を通じて修得する。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

修士論文(制作) プレゼンテーション 調査・分析手法

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	修士論文(制作)の意味	調査・分析で得られた資料の確認	指導・担当教員による個別の授業と要旨・資料作成を実施する。院生・教員の出席の下、研究成果の討議、発表を重ね、専修分野を超えた幅広い視点から各自の成果を達成する能力を修得すること
2	論文作成の手順①	論文作成をどのように進めるべきか	
3	論文作成の手順②	現状のテーマと内容に齟齬がないかを確認する	
4	テーマ設定の再確認①	先行研究と関連性の再確認の実施	
5	テーマ設定の再確認②	論文内容の検討とプレゼンテーションの実施	
6	論文のオリジナル性	論文の全体構成の組み立てを検討する	
7	プレゼンテーション①	論文内容の検討とプレゼンテーションの実施	
8	論文の全体構成案	論文の全体構成の組み立てを再検討する	
9	プレゼンテーション②	論文内容の検討とプレゼンテーションの実施	
10	論文の全体構成修正	論文全体構成の最終確認	
11	論文の作成・校正①	論文作成と校正	
12	論文の作成・校正②	論文作成と校正	
13	プレゼンテーション③	論文内容の検討とプレゼンテーションの実施	
14	造園学論集別冊用要旨	造園学論集別冊用の要旨作成	
15	プレゼンテーション④	最終発表会	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

各担当教員の指示に従うこと

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

「造園学論集別冊」 大学院修士論文要旨集 博士論文梗概集 東京農業大学造園学専攻編

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

討論会、中間・最終発表会における要旨・資料の内容、プレゼンテーション能力によって評価する

◆オフィスアワー

主事・服部 toms@nodai.ac.jp 水曜 13時から14時 各指導教員は、造園科学科の担当科目参照のこと

◆その他受講上の注意事項

修了年次生(博士前期2年生)のみ履修すること。

日程などは、11号館5階 大学院掲示板、学生ポータル、担当教員の指示に従うこと。尚、本実験・演習は個別指導を基本とし、全体発表会や意見交換会・交流会も実施する